

# 子どもがつくる町『ミニたまゆり』 学生実行委員大募集

**ミニたまゆりとは**、大学内に仮想の町をつくり、子どもたちが町の中で**就業体験**を**行うイベント**です。具体的には銀行や市役所などの**公共**のフロア、紙すきやシュシュ作りなどの**製作**のフロア、もぐらたたきや缶つまなどの**遊び**のフロア、ケーキや豚汁などの**食事**のフロアにある**約70もの店舗**の中から、好きな仕事を探し、働きます。働くとお給料(町の通貨「ユリー」)が支払われ、税金を納めた後、残ったお金で遊ぶことができます。このような社会のしくみを、子どもたちが**楽しみながら学びます**。

## 具体的にどんなことをするのか。

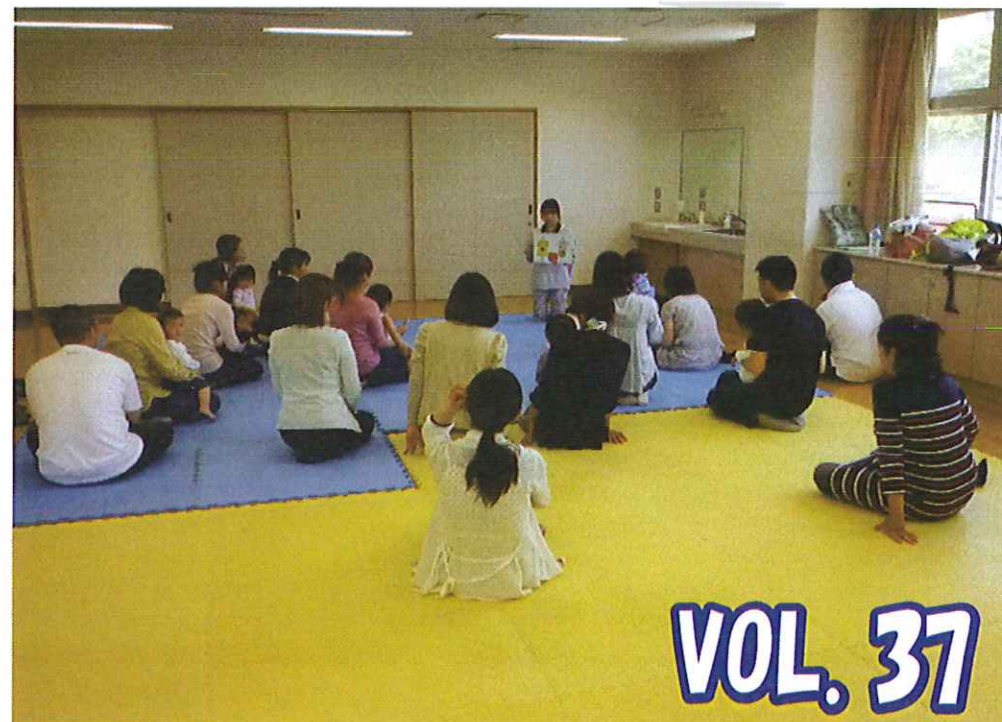
- 週1～2回の会議に出席(毎年、お昼休みの時間に行なっています。)
- \*子ども会議の企画・運営  
※子ども会議とは、本番に向けて子どもたちが100人ほど集まり、ミニたまゆりのユリーのデザインや子ども市長、新しいお店、町のルールなどを決める会議のこと。年4回開催。
- ミニたまゆりの企画・運営

その他にも、製作・公共・食事・遊び・記録・誘導などのチームに分かれ、それぞれ活動・本番準備などを行います。



# GWANGO

～みんなの笑顔が わたしの笑顔～



ボランティア活動の様子：美しが丘地域ケアプラザ「音楽あそび」の企画にて

## VOL. 37

発行日：2013年(平成25年)5月31日(金)  
発行：田園調布学園大学 地域交流センター  
〒215 8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1  
TEL：044-966-2780 FAX：044-966-3512  
E-mail:c-center@dcu.ac.jp  
ホームページ：<http://www.dcu.ac.jp/region/regional01/>

# ボランティア活動してきました!!

～私たちのボランティア活動を紹介します～

本学では、多くの学生が継続的に様々なボランティア活動を行っています。今月は、積極的に活動を行なっている4人の学生のボランティア活動状況を掲載します。



社会福祉学科 社会福祉専攻 2年生 田村 知輝

あなたにとってボランティアとは？

**「自分の行きたい分野が見つかる！」**



社会福祉学科 社会福祉専攻 2年生 三橋 美帆

あなたにとってボランティアとは？

**「恩返しでもあり、  
新しい考えを見つけさせてくれる場所」**



「LDEグループ」のボランティアに参加してきました。この団体の活動は、軽度発達障害児と一緒に遊ぶという内容で、季節に合わせた行事や長期休暇を利用しての遠足などを行っています。DCUの学生がたくさん参加していて、優しいスタッフさんがいるので、とても楽しいボランティアです。



「アガペ壱番館」のボランティアに参加してきました。アガペ壱番館は、通所やショートステイで来所している様々な障害のある方々が利用する施設です。ボランティアは、スポーツの進行や補助、話し相手、水分補給の介助、車椅子の移動補助など行います。みなさん、障害を持ちながらも全力で色々なことに挑戦なさっているので、サポートをしながら、とても楽しい気持ちになれる、やりがいのあるボランティアです。



社会福祉学科 社会福祉専攻 3年生 向井 翼

あなたにとってボランティアとは？

**「視野をひろげてくれる、  
参加する度に多くの事を学べます」**



社会福祉学科 社会福祉専攻 3年生 宇佐美 翔太

あなたにとってボランティアとは？

**「ありがとうのめくもいを感じられる」**



「あしなが共同募金活動」に参加してきました(3回目)。今回は、東北レインボーハウス(東日本大震災によって親を失った子どもたちの心のケアを目的とした施設)建設のための募金活動でした。時間が経つにつれ、重くなっていく募金箱にたくさんの人の思いを感じることができ、自分自身もっと力になりたいと思いました。



川崎市の「青少年フェスティバル」のボランティアに参加してきました。このフェスティバルは、川崎市内の青少年の社会参加を目的としたイベントで、毎年8千人もの子どもたちが来場する人気のイベントです。今回、参加して、子どもたちのたくさんの笑顔を見たり、多くの子どもたちと触れ合ったりしました。たくさんの「ありがとう」の言葉をもらい、とても貴重な1日でした。